

春日井市国民健康保険 データヘルス計画(第2期) 【概要版】

(2018年度～2023年度)



書のまち春日井「道風くん」

2018年(平成30年)3月
春日井市

計画の概要

■背景と基本的事項

「日本再興戦略」(2013年(平成25年)6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として『データヘルス計画』の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としています。

さらに、「日本再興戦略2016」(2016年(平成28年)6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としています。

こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図ります。

■位置付け

国の「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第二次))」や愛知県の「健康日本21あいち新計画」に示された基本方針を踏まえるとともに、「第六次春日井市総合計画」を上位計画とし、「かすがい健康計画2023」、「特定健康診査等実施計画(第3期)」及び「第7次春日井市高齢者総合福祉計画」等で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図る必要があります。

■期 間

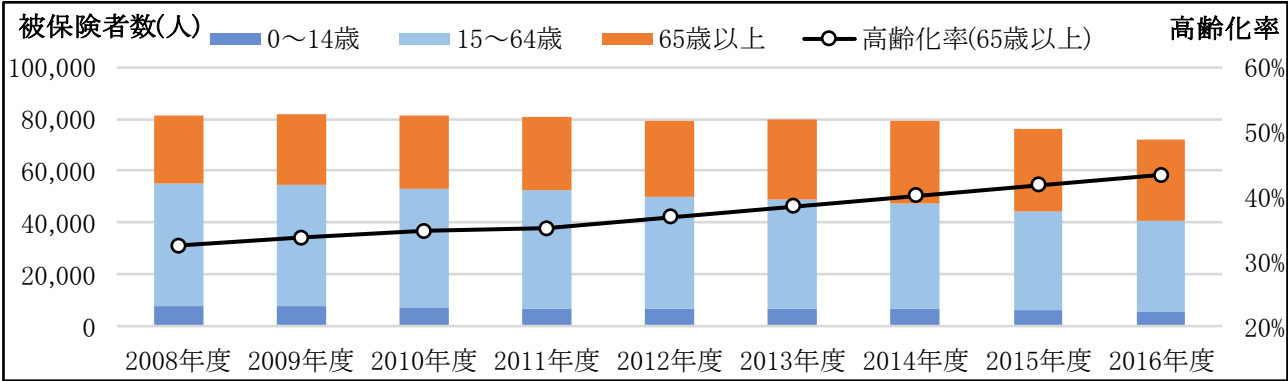
2018年度(平成30年度)から2023年度までの6年間とします。

春日井市国民健康保険の概況



国民健康保険加入者の状況

被保険者数は減少傾向にある一方、高齢化率(65歳以上)は上昇傾向にあります。

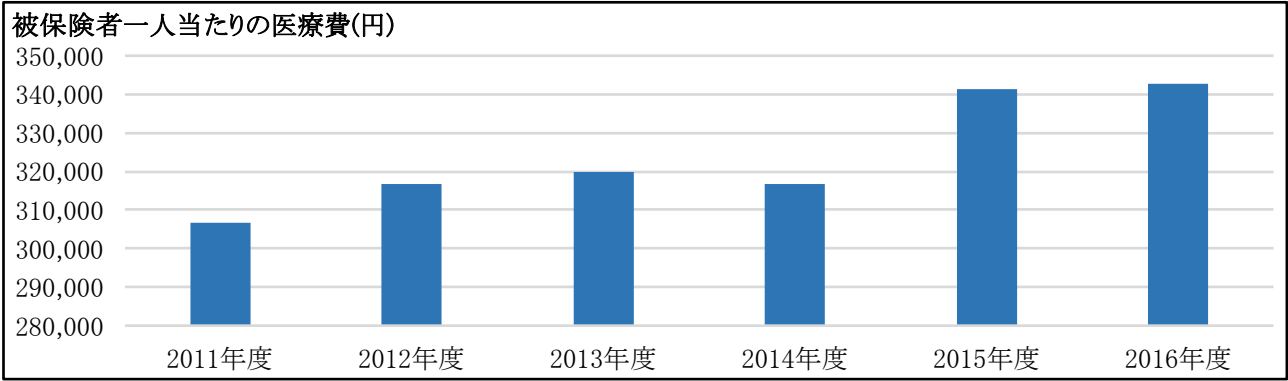
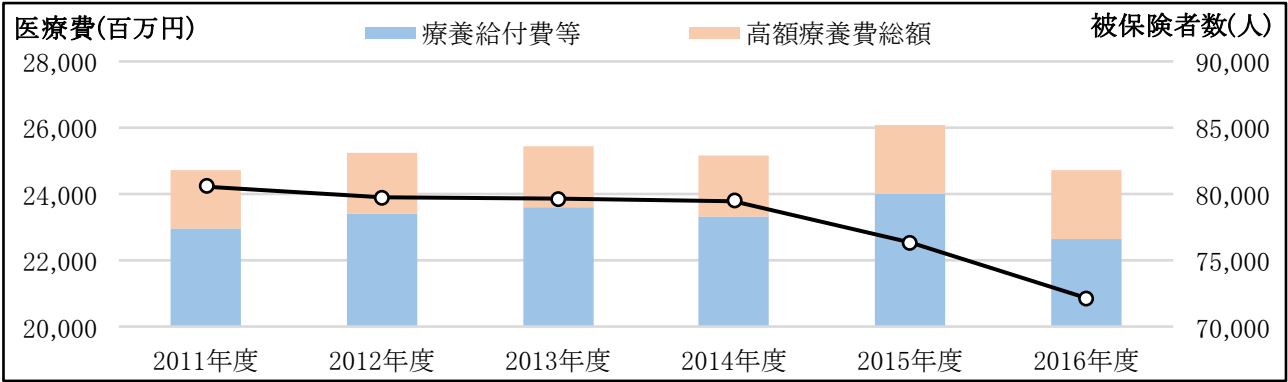


医療情報の分析結果



1 医療費の状況

医療費は2015年度(平成27年度)に260億円を超えましたが、被保険者数の減少等により2016年度には247億円に減少しました。ただし、被保険者の高齢化の影響から、被保険者一人当たりの医療費は増加傾向にあります。



2 年齢階級別被保険者の医療機関受診状況

生活習慣病の受診者数は、60～64歳から65～69歳において著しく増加し、70～74歳が最も多くなっています。

3 中分類による疾病別医療費統計

医療費では、「糖尿病」が最も高く、次いで「高血圧性疾患」「腎不全」とあり、被保険者一人当たり医療費では、「糖尿病」と「高血圧性疾患」は愛知県や国よりも高くなっています。

4 生活習慣病に係る医療費

男女ともに糖尿病の一人当たり医療費が高くなっています。

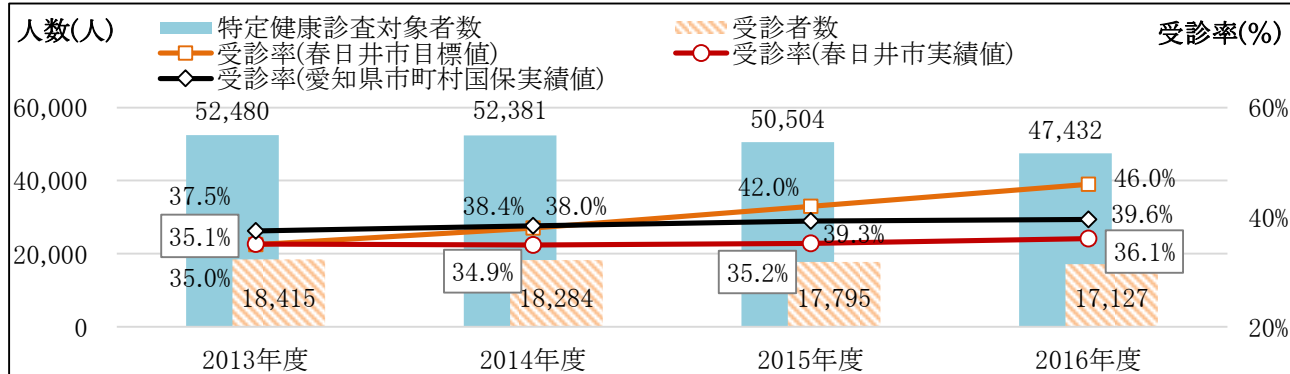
5 人工透析患者の状況

人工透析患者の保有疾患を調べると、「高血圧症」が最も多く、次いで「糖尿病」「虚血性心疾患」となっており、人工透析患者は生活習慣病を保有している割合が多いことがわかります。

保健事業の分析結果

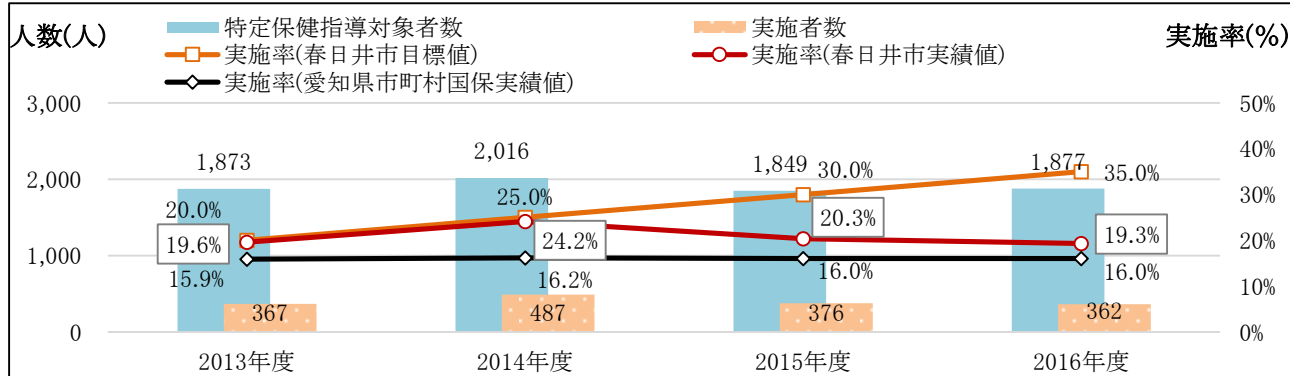
1 特定健康診査の実施状況

受診率は上昇傾向にありますが、愛知県平均よりも低いです。



2 特定保健指導の実施状況

実施率は2014年度(平成26年度)の24.2%をピークに減少しています。



3 アンケート結果(特定健康診査を受けない理由)

「定期的に医療機関に通っている」が最も多く、その他、「受ける時間がない」、「受診したいがきっかけがない」等がありました。

4 ジェネリック医薬品普及率

ジェネリック医薬品普及率は年々上昇しています。

分析結果に基づく課題

課題 1 国民健康保険被保険者の現況と医療費分析から見える課題

被保険者数は年々減少傾向にある一方で、高齢化率は上昇傾向にあり、一人当たりの医療費は増加傾向にあります。疾病別統計(医療費)では生活習慣病が上位を占めていることから、自らの健康状態を知ることができる特定健康診査の受診勧奨や特定保健指導の利用促進が必要です。

課題 2 特定健康診査・特定保健指導実施状況から見える課題

特定健康診査等実施計画(第2期)の目標値には達していません。

被保険者が自らの健康状態を把握し、必要に応じて可能な限り早期に生活習慣の見直しをするためにも、特定健康診査受診率と特定保健指導実施率の向上を強化します。

課題 3 人工透析に係る分析から見える課題

「高血圧症」や「糖尿病」の症状の進行を抑えることにより人工透析患者の減少を図る取り組みが必要です。

課題 4 ジェネリック医薬品(後発医薬品)普及率から見える課題

春日井市の2016年度のジェネリック医薬品普及率は、国が定める使用割合には未達成の状況です。この普及率を向上させるための切り替え勧奨を行うことが必要であり、あわせて、被保険者の医療機関受診や服薬状況の適正化に係る取り組みも必要です。

課題 5 特定健康診査の結果から見える課題

特定健康診査受診者の半数以上が保健指導判定値を超えています。健康への意識が向上するような周知・啓発を、さまざまな場面で行う必要があります。

保健事業実施計画（基本的な考え）

目 的

被保険者は、病気に対し発病・重症化予防に自ら取り組み、一人ひとりが生涯にわたって健康であり、心豊かな生活を送ることができるように努めます。

保険者は、被保険者が「自分の健康課題」を正しく理解できるよう支援し、あわせて医療費の適正化をめざします。

重点目標（主な取り組み）

- 特定健康診査及び特定保健指導の推進
- 生活習慣病の発病及び重症化予防
- 重複受診及び重複服薬者への訪問指導
- ジェネリック医薬品の普及
- 被保険者の健康に対する意識づくりの推進



©Kasugai City 2008

書のまち春日井「道風くん」

平成30年3月発行

春日井市国民健康保険データヘルス計画(第2期)【概要版】

春日井市 市民生活部 保険医療年金課

〒486-8686 愛知県春日井市鳥居松町5-44

電話:0568-85-6367

<http://www.city.kasugai.lg.jp/>